

学校評価(児童・保護者・職員)

めざす 学校像	評価項目	対象	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	わからない
知 確 かな 知 性	1. 児童たちは、自分から進んで学 習に取り組んでいる。	児童	39.7%	39.1%	11.7%	3.3%	6.2%
		保護者	18.7%	50.5%	23.1%	7.0%	0.7%
		職員	20.0%	73.3%	0.0%	0.0%	6.7%
	2. 児童たちは目標を定めたり、計 画を立てたりして学習に取り組んで いる。	児童	38.8%	37.8%	15.3%	2.3%	5.9%
		保護者	10.7%	38.5%	40.1%	9.7%	1.0%
		職員	20.0%	79.3%	0.0%	0.0%	6.7%
	3. 児童たちは、分からないことが あったら本やパソコンで調べたり、 人に聞いたりして取り組んでいる。	児童	66.9%	22.0%	6.2%	1.6%	3.3%
		保護者	30.8%	54.5%	12.4%	2.3%	0.0%
		職員	33.3%	53.3%	6.7%	0.0%	6.7%
徳 豊 かな 心	4. 児童たちは「おはようございます・こ んにちは・さようなら・ありがとう・ごめん なさい」等が言えている。	児童	68.6%	25.2%	3.3%	1.0%	2.0%
		保護者	34.5%	53.5%	10.0%	2.0%	0.0%
		職員	13.3%	66.7%	20.0%	0.0%	0.0%
	5. 児童たちは、友達や周りの人に思いや りの気持ちをもって接している。	児童	50.5%	37.1%	4.9%	2.0%	5.5%
		保護者	43.5%	51.5%	4.0%	0.3%	0.7%
		職員	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%	0.0%
	6. 児童たちは、自分には良いところ があることや、自分の長所を知っ ている。	児童	58.2%	26.1%	6.9%	4.9%	3.9%
		保護者	34.8%	50.8%	12.1%	0.3%	2.0%
		職員	13.3%	73.3%	6.7%	0.0%	6.7%
体 健 やか な 体	7. 児童たちは、規則正しい生活習慣を 身に付け、病気にならないよう、健康に 気を付けている。	児童	51.8%	37.5%	8.5%	0.7%	1.6%
		保護者	33.1%	52.5%	13.4%	1.0%	0.0%
		職員	13.3%	66.7%	20.0%	0.0%	0.0%
	8. 児童たちは、運動や体を動かす 遊びに進んで取り組んでいる。	児童	63.8%	18.2%	11.1%	3.6%	3.3%
		保護者	43.5%	32.4%	18.4%	5.4%	0.3%
		職員	20.0%	73.3%	6.7%	0.0%	0.0%
	9. 児童たちは、事故やけがに合わ ないように、安全に気を付けて生活し ている。	児童	62.4%	28.4%	5.9%	0.7%	2.6%
		保護者	42.5%	50.5%	6.7%	0.0%	0.3%
		職員	0.0%	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%
10	『学校いじめ防止基本方針』について 学校は、児童の気持ちを理解することに 努めながらいじめ防止に取り組んでいる。	児童	71.0%	23.8%	0.7%	0.7%	3.9%
		保護者	33.1%	51.5%	5.4%	1.3%	8.7%
		職員	40.0%	53.3%	0.0%	0.0%	6.7%
11	『学校いじめ防止基本方針』について 学校は、いじめ等問題が起きたときは素 早く対応し、家庭と連携を図っている。	児童	69.6%	21.2%	3.3%	0.7%	5.2%
		保護者	31.1%	48.2%	5.4%	1.0%	14.3%
		職員	46.7%	40.0%	0.0%	0.0%	13.3%

2 保護者アンケート（自由記述）の主な意見 ※一部抜粋

☆確かな知性

・家では分からないことは大人に聞いたり、辞書を使って調べたりすることはできるが、学校だと友人や先生に自分から質問できない。もっと、友人や先生とのコミュニケーションが必要かなと思います。

☆豊かな心

・子供から心配事があったときに、担任の先生に相談したら迅速な対応をしてくださいました。子供も安心して学校に通えるのも先生たちの報告や連携がしっかりしているからだと思います。

・困り事のときは、相談させて頂き、フォローいただきました。先生がとても忙しくみえますので、なかなか相談しづらいなという印象です。担任の先生ではフォローできない部分を相談できる副担任の先生のような存在がいたらなと思います。

☆健やかな体

・新体力テストの結果を、保護者にも教えていただきたいです。可能であれば、身体測定のように入学から卒業までの数字が分かったら、とてもいいです。

☆その他

・保護者の旗振りなどの PTA 活動による家族への負担を感じます。家庭のあり方が変化しているので、家庭の負担が少なくなるようにして、もっと子供と向き合う時間が増えるようになればと思います。

3 アンケート結果を受けての考察・改善案

☆確かな知性

船越小学校では、児童の「知りたい・学びたい」という気持ちを喚起させ、主体的・対話的に学べる授業を目指しています。そのために学年間はもちろん、学年を超えても授業を見合う研修の場を設け、児童の実態に合わせた最適な学習ができるように話し合っています。また、テストの実施時間等の詳細な部分についても確認し合い、さらに柔軟に対応できるよう努めていきます。

☆豊かな心

船越小学校の児童は明るく素直で、優しい子供が多いことは職員全員が共通認識しています。ご家庭や地域の温かい声掛けや見守りがあってのことと感謝しております。挨拶については、児童よりも保護者の方ができていないのではないかと感じていることが分かりました。学校側も個人の差が大きいことを感じています。来年度に向けての話し合いの中で課題として検討中です。いじめ対策に関しては子供の様子をよく見て、アンケートや子供との会話などから些細な変化やサインを見逃さず、早期発見と未然防止に努めていきます。また、いじめに関わる事案が起きたときには、いじめ対策委員会を機能させ、学校体制で取り組んでいきます。不審者情報に関しては、学校が得た情報があれば、さくら連絡網等でお知らせしていきます。

☆健やかな体

衛生・安全面に関しては比較的にできているととらえている児童や保護者が多かったです。給食については、5月以降は基本的に黙食は実施しておりませんでした。しかし、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症が年間を通して流行し、それに合わせて適宜黙食を実施したため、必然的に黙食の回数が多くなってしまいました。感染が落ち着いている時期はグループ形態での食事も検討しましたが、それに対して強い抵抗感をもつ児童もいますので、どのような方法がより多くの児童の要望に応えられるか検討していきます。

4 学校関係者評価

☆確かな知性

- ・学習に関して学校側が取り組んでいることは信頼している。アンケート結果にも表れている。
- ・学校と保護者との間でギャップがある。授業では、目標を立てて学習するように指導しているが、家庭ではなかなか難しい。子供たちが家庭でも目標を立てて学習に取り組めるようになるとよい。

☆豊かな心

- ・アンケートを活用したり、子供の様子をよく観察したりして、いじめ対応に熱心に取り組んでいる様子が見られる。今後も小さな変化を見落とさず、引き続き取り組んでほしい。
- ・挨拶のために、保護者用の名札を作ったのはよかった。

☆健やかな体

- ・安全面で、児童と保護者はよくできていると評価しているが、学校側は真逆の評価となっている。環境の違いはあるが、安全面での指導をお願いしたい。
- ・体を動かすことに関しては、休み時間や学習での過ごし方を考えていってほしい。

☆その他

- ・地域が学校の力になれるように、どのような形でできるのかを、検討していきたい。
- ・児童も保護者も地域も良い学校だと感じている。子供ファーストの気持ちを、地域も保護者にも広げていけるような方法を今後も考えていきたい。

5 改善策

☆確かな知性

学校での学習で、單元ごとに立てている学習計画や目標を可視化し、常に意識できるようにしていきたい。また、学校で学んだことを、日々の家庭学習にも生かしていけるような働きかけをしていきたい。

☆豊かな心

「自分には良いところがある」とあまり感じていない児童が1割いる。昨年度よりは減っているが、引き続き学校生活全般を通して、自己肯定感を高めていけるように図る。いじめ対策に関してはいじめ対策委員会を機能させ、学校体制で取り組んでいく。また、アンケートを活用し、早期発見と未然防止に努めていきたい。

☆健やかな体

体を動かすことに関しては、学習や休み時間の過ごし方を通して、だんだんと児童の自主的な行動につながっていくような声掛け等をしていく。安全面に関しては、学校での安全な過ごし方について発達段階に応じて指導をしていきたい。